

第3回情報通信部会（オープン部会） 部会長報告

1. 事業名 **X R・メタバース活用セミナー**
2. 目的 **X Rやメタバース技術の利用による効果的な採用活動をはじめ、新たな広報やマーケティングツールとしての活用など、先進事例紹介を通じてビジネスへの利活用を模索するため開催した**
3. 日時 **2024年11月28日（木）
13：30～15：00**
4. 場所 **秋田商工会議所 ホール80**
5. 出席者 **16名**
6. 講演
(1) テーマ **「企業価値向上や人材採用へつながるWeb活用～メタバース～」**
講師 **株式会社ディーエスブランド 北日本関東販売本部
北日本第二営業部 秋田県担当 石郷岡 拓巳 氏**
(2) テーマ **「企業のDX化や新サービス開発を実現するXR、メタバース技術等の未来」**
講師 **株式会社ゼロニウム 代表取締役 伊藤 茂之 氏**



講演内容① （株）ディーエスブランド

【企業価値向上や人材採用へつながるWeb活用～メタバース～】

- メタバースの特徴
 - ・ Web会議システムと比べ、**会話の自由度が高く、空間内で会話する相手を自由に選ぶことができる**
 - ・ **匿名で参加できるため、心理的ハードルが下がる**
 - ・ **宇宙体験や特等席でのライブ鑑賞など、現実では出来ない体験を味わうことができる**
- 採用活動にメタバースを活用するメリット
 - ・ **興味喚起や参加への動機付け、他社との差別化に大きな効果を発揮できる**
 - ・ **求職者は、面白みや新鮮さを感じ、能動的な情報収集ができることで満足度が高くなる**
- メタバース活用事例
 - ・ **（株）ディーエスブランドでは、会社説明会や内定者フォローの場面でメタバースを活用しており、参加者からは「初めてのメタバース空間はとても新鮮で、ゲーム感覚で楽しめた」「対面より緊張せずに質問ができた」などの声が寄せられている。**

講演内容② (株) ゼロニウム

【企業のDX化や新サービス開発を実現するXR、メタバース技術等の未来】

- **XR（クロスリアリティ）とは、AR（拡張現実）、VR（仮想現実）、MR（複合現実）などの技術の総称のこと。現実世界と仮想世界を融合させた新しい体験が提供できる**
- 
- これまでVRゴーグルなどのデバイスの価格が高く普及が進まなかったが、**Meta 社が2023年10月に廉価版の新型ヘッドセットの販売を開始した**
 - 今後は、**行政手続、婚活、防災訓練、美術鑑賞、地域コミュニティ等での活用に加え、ビジネスにおいても、展示・商談会の開催や、メタバースオフィス・会議での活用、ファッションショーやライブなどでのサービスの提供が想定される。**

3

アンケート結果 参加者数16名、回答数13名（回収率81.25%）

【XRやメタバース技術のビジネス利用について】

- **ビジネスで利用はしていないが、検討の余地がある 61.5%**
- **ビジネスでの利用は難しい 23.1%**
- **既にビジネスで活用している 15.4%**

【社内のデジタル化について】

- **デジタルツールを活用している 53.3%**
- **AIを活用している 26.7%**
- **今後導入する予定 20.0%**

【受講者のコメント】 ※抜粋

- **職場見学メタバースはやってみたいと思った**
- **デモ体験を見せていただいたので、理解しやすいセミナーだった**
- **まだXRやメタバースを利用していないが、今後検討していきたい**